

1部 シンポジスト

プロフィール

澁谷 貴子（しぶや たかこ）

看護師・助産師

一般社団法人日本助産所会 代表理事・しぶや助産院 院長助産師

1964年 北九州市生まれ。

長崎大学医学部附属看護助産学校助産婦科卒業後、助産師として臨床に従事。

産業医科大学病院（分娩部・NICU）に16年間勤務。

2003年12月 福岡県遠賀郡岡垣町に、しぶや助産院(有床2床)を開院。

2010年8月 新開設し6床に増床。

『ひとりひとりを大切に、一人一人を丁寧に』をモットーに自然分娩・母乳育児支援・産後ケアに勤しんでいる。

2002年 おんぶりだっこの会を発足。『いいお産の日イベント・親子に贈るおはなしコンサート』を企画し10年に渡り、お産と子育てをテーマに講演し、父親・母親から絶大の支持を得た。

小・中・高校の学生に『命と性の大切さについて』の性教育講演は多数あり。

聴覚障害者や発達障害支援学校の教師向けに性教育講演の実績有り。

ラジオ・TV・新聞などのメディアにおいて、地域母子保健の向上に尽力している開業助産師として数多く取り上げられる。

現在、福岡県遠賀郡岡垣町在住、3児の母。長女は、現在勤務助産師。

2009年11月福岡県母子保健大会で家族計画協会会長賞の表彰を受ける。

2015年11月母子保健功労者福岡県知事表彰を受ける。

2016年10月社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長表彰を受ける。

2020年12月一般社団法人日本助産所会 代表理事に就任する。



講演内容

いのちの底力をうみだす女性主体のお産

赤ちゃんを迎える時に、妊婦とそこそご家族の意思を尊重し、妊婦が望んでいる事は何かという事を医療者が十分に理解し、関わる事がとても重要です。

助産師は何処で働いていても、妊婦とそこそご家族に寄り添い、お産がより安全で安心したものになるようにとお産環境を整える役目を担っています。特に助産所でのお産は、常に女性主体であり、且つ、お産が生理的な自然の営みの中で行われるように、妊婦を導き手助けをしています。

いのちの底力が芽生えるお産とは、女性たちが自分の子どもを愛しいと思い、しっかりといのちと向き合う精神性こそがその基盤となります。

シンポジウムでは女性たちの思いを大切にしたい継続的な助産師のサポートを通して見えてきた「お産や子育てに対しての女性たちのいのちの底力」をお伝えしつつ、助産師のケアを見直すために、今、何をすべきかという事を提言したいと思います。

お申し込み 下記リンクよりお申し込み下さい



医療従事者専用お申し込みページ
一般専用お申し込みページ
がございます。
お間違えのないようお申し込み下さい。

- 本シンポジウムはmemidのサービスを利用しております。そのためお申し込みにはmemid会員登録が必要となっております。
- Zoomライブ配信で配信トラブルにより視聴できなかった場合は、後日の録画配信をご視聴ください。その場合でも返金等の対応はいたしません。ご了承ください。

後日録画
配信付き

お問い合わせ先
(一社) 日本助産所会 事務局

093-282-3476

jima20201214@gmail.com

運営協力: memid